

投 稿 要 領

1. **投稿資格** 投稿は会員に限る。ただし、編集委員会が認めたときはこの限りではない。筆頭著者以外の著者には非会員を含むことができる。
2. **原稿内容** 原稿は森林・林業に関連する分野を扱ったものとし、未発表のもの、および他の学術雑誌等に投稿中もしくは投稿予定ではないものに限る。
3. **原稿種別** 原稿は論文、総説、短報、その他とし、和文とする。
4. **原稿の採否** 原稿の採否は編集委員会が決定する。
5. **頁数制限** 原稿の長さは原則として、すべてを含む刷り上がり論文は 6 ページ以内、総説は 10 ページ以内、短報、その他は 4 ページ以内とする。やむをえない場合に限り、論文、総説、短報については規定ページ数の 1.5 倍まで認め、超過分については著者の負担(1 ページごとに 30,000 円)とする。
6. **投稿方法** 投稿原稿は執筆要領にしたがって作成し、本学会ホームページ (<http://www.forestry.jp/>) を経由して、科学技術情報発信・流通統合システム (J-STAGE) の投稿審査システムより投稿する (以下、ウェブ投稿)。
7. **校正** 著者校正は原則として初校に限り、誤植の訂正にとどめる。
8. **著作権譲渡** 著者は、原稿の採用決定後にその著作権を本学会に譲渡する。著作権譲渡承諾書に署名のうえ、校正原稿とともに編集部へ提出する。
9. **別刷** 別刷は希望により 50 部単位で購入できる。
10. **編集部** 校正原稿、著作権譲渡承諾書および原稿 (郵送投稿の場合) の送付、並びに投稿についての問い合わせは下記の編集部宛とする。
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16
学会誌刊行センター 日本森林学会誌編集部
Fax : 03-3817-5830
E-mail : forest-jp@capj.or.jp
(2017 年 3 月 3 日改定)

執 筆 要 領

1. 原稿の形式は次のとおりとする。
論文、総説、短報は、(1) 表紙として、原稿種別、表題、簡略表題 (ランニングタイトル, 25 字以内)、著者名 (姓名略さず)、所属、所在地 (著者が複数の場合、共著者全員の所属と所在地を明記)、いずれも和英併記 (ただし、簡略表題は和文のみ)、および連絡先著者の電子メールアドレス、(2) 要旨および 5 語以内のキーワード、いずれも和文と英文で記載、(3) 本文、(4) 引用文献、(5) 図の題と説明、(6) 図、(7) 表、(8) 電子付録 (付図・付表など) をそれぞれ別紙に記載する。謝辞がある場合は本文の最後に記述する。
その他は特集の巻頭言、書評、シンポジウムの記録などで、特に形式を定めない。ただし、表題の前に巻頭言などの種類を記載する。
なお、短報とは、新規性がありかつ公表の緊急性が高いもの、新たに開発された研究方法や機械の紹介、既成の知見を確認する報告や貴重な測定結果などとする。たとえば、国内外の調査報告・事例報告、樹病の症例報告、長期にわたる調査観察・計測データの紹介・中間報告なども含まれる。
2. **表題**は「……に関する研究」や「……について」などの表現は避ける。
3. **和文要旨**は、論文と総説については 500 字以内、短報については 400 字以内とする。
英文要旨は、冒頭に著者名、表題、“J Jpn For Soc”，空白 (約 15 文字分) を付加し、これらを含めて、論文と総説については 250 単語以内、短報については 200 単語以内とする。要旨中では図・表・電子付録・文献・数式などの引用は避け、改行しない。
4. **原稿**は A4 判の白紙に横書きで、1 枚につき上下左右それぞれ 3cm 程度の余白をとり、横 40 字×縦 25 行に整えたものとする。図・表と電子付録以外の原稿にはページをふり、左余白には行番号を付記する (手書きの場合は 5 行おきでもよい)。本誌 1 ページあたり、文字のみで 2,700 字程度入る。
5. 仮名遣いは現代仮名遣いとし、学術用語以外は常用漢字を用いる。原稿中に欧語を用いるのは、その必要がある場合に限る。動物・植物の和名は片仮名書きとし、学名はイタリックとする。単位は SI 単位とする。ウェブ投稿の場合は、外字や機種依存文字、ならびに入手困難なフォントは用いない。
6. **図・表**の題にはそれぞれ通し番号 (図-1、表-1 など) をつける。英文の図・表の場合は、和文の題に英文を併記し、それ以外の部分はすべて英文とする。

図：印刷したときの品質が鮮明なものとする。図に使用した記号やグラフの網掛けの凡例は図中に入れる。用紙の右上に図の通し番号(図-1 など)を記載する。図の修正，書き直し，文字の貼り直しは著者の実費負担とする。カラー印刷希望の場合は，その製版印刷の全額を著者負担とする。

表：大きさは原則として，1 ページに印刷できる限度以内とする。表の縦けいは省き，横けいもできる限り省略する。図化できる表は，図にすることが望ましい。題は表の上に，脚注は表の下に記載する。

7. **電子付録(付図・付表など)**は，必要のある場合，電子的補助資料としてつけることができる(冊子体には掲載されない)。付図・付表の記載方法は上記の図・表に従う。ただし，付図には題と説明を図の下に記載する。
8. **引用文献**は著者名のアルファベット順に記載し，同一著者の文献が複数ある場合には発行年順とする。本文中での引用は，引用文献に付した通し番号を用いて(1), (2, 3)のように引用するか，または，該当人名に(年)あるいは事項に(人名 年)をつけて引用する。混用はしないこと。後者の方法で著者が2名の場合は(人名・人名 年)，(name and name 年)のように引用する。また後者の方法で著者(ただし，著者が3名以上の文献は筆頭著者のみ)と発行年が同一のものは，年の後に a, b などをつけて区別する。誌名の略記法は慣例にならう。巻通しページがある場合は巻のみとし，ない

ときは巻(号)を併記する。記載方法は下記の例に従う。

例

a. 雑誌の場合

笠井美青・丸谷知己(1994) 山地河川における立木群による土砂の滞留機構. 日林誌 76: 560-568

Ochiai Y, Okuda S, Sato A (1994) The influence of canopy gap size in soil water conditions in a deciduous broad-leaved secondary forest in Japan. J Jpn For Soc 76: 308-314

b. 書籍の場合

Levitt J (1972) Responses of plant to environmental stresses. Academic Press

渡邊定元(1994) 樹木社会学. 東大出版会

c. 書籍中の場合

小林繁男(1993) 熱帯土壌の瘦悪化. (熱帯林土壌. 真下育久編, 勝美堂). 280-333

Wells JF, Lund HG (1991) Integrating timber information in the USDA Forest Service. In: Proceedings of the Symposium on Integrated Forest Management Information Systems. Minowa M, Tsuyuki S (eds) Japan Society of Forest Planning Press, 102-111

9. 本文中で用いた注は引用文献の前に番号をつけてまとめる。

(2018年4月24日改定)